

社会学研究室スタッフ業績一覧（2010年度）

五十嵐 泰正

【著書】

1. 「『地域イメージ』, コミュニティ, 外国人」岩淵功一編『多文化社会の〈文化〉を問う——共生・コミュニティ・メディア』青弓社, 2010年6月, 86-115ページ。
2. 「『政治』選挙カーとツイッターのあいだ」遠藤知巳編『フラット・カルチャー——現代日本の社会学』せりか書房, 2010年10月, 377-384ページ。
3. 「『空間』が変わる」(川端浩平との共著)塩原良和, 竹ノ下弘久編『社会学入門』弘文堂, 2010年11月, 222-235ページ。
4. 「『越境する労働』の見取り図」五十嵐泰正編『労働再審② 越境する労働と〈移民〉』大月書店, 2010年11月, 11-50ページ。
5. 「ディアスポラとしての元「不法」就労パキスタン人たち」首藤もと子編『叢書グローバル・ディアスポラ 第2巻 東南・南アジアのディアスポラ』明石書店, 2010年12月, 200-221ページ。

【エッセイ, 事典項目執筆など】

1. 「グローバリゼーションと都市」日本社会学会社会学事典刊行委員会編『社会学事典』丸善, 2010年6月, 732-733ページ。
2. 「北の「荒野」を往く～「成長の爪痕」と向き合う旅～」『POSSE』vol. 7, 合同出版, 2010年7月, 72-92ページ。

【対談, シンポジウム記録など】

1. 「ドラマ『龍馬伝』——「新党」たちはなぜ, 坂本龍馬の夢を見るのか?」(木下武男との対談)『POSSE』vol. 7, 合同出版, 2010年7月, 101-104ページ。
2. 「グローバリゼーション, 移動/定住」(日本社会学会での「グローバリゼーションと移動/定住のフロンティアの現在」の記録, コメントータとして参加)『KG/GP 社会学批評』第4号, 2011年3月予定, 84-87ページ。

【学会口頭報告】

1. 「『地域イメージ』, コミュニティ, 外国人」『シンポジウム グローバルな移動とコミュニティ形成』筑波社会学会第22回大会, 筑波大学東京キャンパス, 2010年7月。

土井 隆義

【著書・編書】

1. 『人間失格？——「罪」を犯した少年と社会をつなぐ——』日本図書センター，2010年9月
2. 『〈若者の現在〉労働』（小谷敏・芳賀学・浅野智彦との共編）日本図書センター，2010年10月

【編書論文】

1. 『『空気を読む』世代の友だち関係——キャラ化された世界を生きる若者たち——』内閣府政策統括官編『平成21年度・青少年育成のための地域連携推進事業報告書』内閣府，68～84頁，2010年6月
2. 「現代の『つながり志向』と少年犯罪——反社会的非行から脱社会的非行へ——」内閣府政策統括官編『平成21年度・青少年育成のための地域連携推進事業報告書』内閣府，93～101頁，2010年6月
3. 「逸脱と統制の文化」井上俊・長谷正人編『文化社会学入門』ミネルヴァ書房，130～131頁，2010年10月
4. 「若者文化」井上俊・長谷正人編『文化社会学入門』ミネルヴァ書房，116～117頁，2010年10月

【雑誌論文】

1. 「現在の非行」『そだちの科学』第14号，日本評論社，53～56頁，2010年4月
2. 「レはラより一〇〇倍恐ろしい——脱暴力化する若者のメンタリティ——（上）」『月刊少年育成』第55巻（第8号），8～12頁，2010年8月
3. 「リーダーを忌避する子どもたち——「上から目線」を嫌悪する時代精神——」『児童心理』第64巻第12号（8月号臨時増刊），58～63頁，2010年8月
4. 「レはラより一〇〇倍恐ろしい——脱暴力化する若者のメンタリティ——（下）」『月刊少年育成』第55巻（第10号），40～45頁，2010年10月
5. 「〈ひとり〉が怖い若者たち（上）——流動化する人間関係を生きる人びと——」『月刊少年育成』第56巻（第1号），32～39頁，2011年1月
6. 「ネットつながりの潜在力——「異質な自分」と向き合うために——」『児童心理』第65巻第2号，18～23頁，2011年2月
7. 「〈ひとり〉が怖い若者たち（中）——価値観の多元化と人間関係の格差化——」『月刊少年育成』第56巻（第2号），2011年2月
8. 「〈ひとり〉が怖い若者たち（下）——流動化した人間関係を生き抜く技法——」『月刊少年育成』第56巻（第3号），2011年3月

【事典項目】

1. 「犯罪の社会学」編集責任およびイントロダクション執筆担当，日本社会学

【書評】

1. 百田尚樹『モンスター』幻冬舎(2010), 『週刊文春』第52巻第19号, 120頁, 2010年5月20日

【エッセイ等】

1. 「小国・土井のここが問題——内向き志向と自己責任主義の構図——」『青少年問題』, 第638号, 52~55頁, 2010年4月1日
2. 「血液型性格診断ブーム——流動化社会の安定剤に——」『北海道新聞』夕刊, 5面, 2010年5月1日
3. 「経験知を積み上げる」『朝日新聞』, 地域総合(山口)面, 2010年5月7日
4. 「評価の基準はどこにあるのか?」『朝日新聞』, 地域総合(山口)面, 2010年6月18日
5. 「心に残る一冊——リンドグレーン作『長くつ下のピッピ』岩波書店——」『子どもの本』, 日本児童図書出版協会, 1頁, 2010年8月1日
6. 「共同体の衰退——脱暴力化する少年犯罪——」『北海道新聞』夕刊, 6面, 2010年8月7日
7. 「映画『カラフル』スペシャル・コメント——かつて悩んだことのある大人たちも必見の映画——」『読売新聞』, 11面, 2010年8月14日
8. 「キブンの時代3(コメント)——「多数派」を読むゲーム——」『産経新聞』, 25面(社会面), 2010年9月7日
9. 「子どもの部活動をめぐる日米の違い」『朝日新聞』, 地域総合(山口)面, 2010年9月9日
10. 「成長なき時代の宿命観——血液型性格診断・スピリチュアリティ・脳科学ブーム——」『広告』, 博報堂, 62~63頁, 2010年9月15日
11. 「地元志向強める若者——拠り所なき不安の表れ——」『北海道新聞』夕刊, 6面, 2010年9月18日
12. 「私たちの青春録」『毎日新聞』, 山口東部版(17面), 2010年9月24日
13. 「小国・土井のここが問題——教育評価の多元性と公平性——」『青少年問題』, 第640号, 46~49頁, 2010年10月1日
14. 「〈ひとり〉が怖い若者たち——人間関係の流動化, 重荷に——」『中国新聞』, オピニオン面(7面), 2010年10月24日
15. 「大学の食堂風景」『朝日新聞』, 地域総合(山口)面, 2010年10月29日
16. 「転婚ブームは到来するのか?」『週刊読書人』, 第6面, 2010年11月5日
17. 「まわりの目を気にするのは?——つながっていたいのは?——」『民主青年新聞』, 特集面(2面), 2010年11月15日
18. 「信心深くなった若者たち」『朝日新聞』, 地域総合(山口)面, 2010年12月

10日

19. 「高まる若者の宗教意識——「不安」への憧憬を反映——」『北海道新聞』夕刊, 6面, 2011年1月15日
20. 「キャラ化する子どもたち」『The Social Insight Updater』, Archivesコーナー
http://www.social-insight.net/archives/column/column_08.html
2011年1月28日
21. 「人はなぜ「キャラ」をつくる?」『チャレンジ未来アドベンチャー6年生』, 2~8頁, 2011年2月1日, ベネッセコーポレーション
22. 「匿名の善意が示唆するもの」『朝日新聞』, 地域総合(山口)面, 2011年2月4日
23. 「少年犯罪の減少が意味するもの」『刑政』(時評), 2011年3月

野上 元

【論文】

1. 「『戦争体験』と近現代日本社会」『日本學研究』(檀國大學校日本研究所)第31輯, 2010年9月

【その他】

1. (項目執筆)「考古学・系譜学」日本社会学会社会学事典刊行委員会編『社会学事典』丸善株式会社, 2010年6月, p.636-637
2. (文献紹介)「保莉実『ラディカル・オーラル・ヒストリー』」「カルロ・ギンズブルグ『チーズとうじ虫』」小林多寿子『ライフストーリーガイドブック』嵯峨野書院, 2010年8月, p.22-25, 144-147
3. (研究ノート)「ネット言論——フラットな板と『ウヨサヨ』ゲーム」遠藤知巳編『フラット・カルチャー』せりか書房, 2010年10月, p.361-368
4. (書評)「川村邦光『写真で読むニッポンの光景100』」『図書新聞』第2994号(2010年12月18日号)

【報告・講演】

1. (報告)「戦争体験と近現代日本社会」檀国大學校日本研究所第26回学術シンポジウム〈韓日大衆文化と戦争表象〉2010年4月23日(檀国大學校石周善記念博物館)
2. (司会)関東社会学会第58回大会第5部会「戦争の記憶」2010年6月19日(中央大学多摩キャンパス)
3. (コメンテーター) Cultural Typhoon 2010パネル「せめぎ合う境界線——十五年戦争と日本の表象」2010年7月3日(駒澤大学)
4. (司会)日本マス・コミュニケーション学会2010年度春季研究発表会「ワー

クシヨップ4・語られた歴史とメディア—聞き取り,取材,インタビュー再考」
2010年7月4日(関西大学)(※ワークショップ報告を執筆。『マス・コミュニケーション研究』78号,2011年,p258-259)

5. (コメンテーター) 筑波社会学会第22回大会シンポジウム「グローバルな異動とコミュニティ形成」2010年7月17日(筑波大学東京キャンパス神保町地区)

黄 順姫

【受賞】

1. 韓国日本教育学会賞(学術賞)平成22年5月28日
単著『同窓会の社会学——学校の身体文化・信頼・ネットワーク——』(世界思想社)で受賞

【共著・編著】

1. 「グローバル化とスポーツ」日本社会学会社会学事典刊行委員会編『社会学事典』丸善株式会社,2010年,584-585頁
2. 「集団形成の原理」井上俊・伊藤公雄編『日本の社会と文化』世界思想社,2010年,157-166頁

【国内・国外の学会・シンポジウムの研究発表】

1. 「同窓会の社会的アプローチと展望」,2010年度,韓国日本教育学会春季大会,2010年5月29日,ソウル教育大学(韓国)
2. 「学校の再生とネットワーク——同窓会・教師・保護者のつながり——」,日本教育社会学会62回大会,2010年9月18日,関西大学

森 直人

【論文】

1. 「交錯するパラドクス—職業訓練論が提起する「非教育の論理」との対話」(エルゴナジー研究会『非「教育」を考える資料集』,日本産業教育学会関東支部),90~101頁,2010年8月。

【学会報告】

1. 「「個別化・個性化教育」再考」(日本教育社会学会第62回大会報告),2010年9月,関西大学。

【雑誌記事】

1. 「松塚俊三・八鉦友広(編)『識字と読書』合評会」(『比較教育社会史研究会通信』第9号),2~4頁,2010年5月。

好井 裕明

【著書】

1. 串田秀也・好井裕明編著『エスノメソドロジーを学ぶ人のために』世界思想社、2010年4月
2. 宮内洋・好井裕明編著『〈当事者〉をめぐる社会学』北大路書房、2010年10月
3. 好井裕明編『セクシュアリティの多様性と排除』明石書店、2010年11月

【論文】

1. 「病と障害：R.F.マーフィー『ボディ・サイレント』」井上俊・伊藤公雄編『社会学ベーシックス8 身体・セクシュアリティ・スポーツ』世界思想社、2010年3月、177-186頁
2. 「女／男であること」串田秀也・好井裕明編『エスノメソドロジーを学ぶ人のために』世界思想社、2010年4月、76-94頁
3. 「メディアに接する」串田秀也・好井裕明編『エスノメソドロジーを学ぶ人のために』世界思想社、2010年4月、96-115頁
4. 「社会問題とエスノメソドロジー研究」串田秀也・好井裕明編『エスノメソドロジーを学ぶ人のために』世界思想社、2010年4月、225-241頁
5. 「鵜飼正樹『見世物稼業』」小林多寿子編著『ライフストーリー・ガイドブック』嵯峨野書院、2010年8月、168-171頁
6. 「オリバー・サックス『手話の世界へ』」小林多寿子編著『ライフストーリー・ガイドブック』嵯峨野書院、2010年8月、278-281頁
7. 「差別問題研究における二つの当事者性」(単著)宮内洋・好井裕明編著『〈当事者〉をめぐる社会学』北大路書房、2010年10月、163-181頁

【書評】

1. 「風間孝・河口和也『同性愛と異性愛』」(2000字)、『図書新聞』第2974号、2010年7月17日
2. 「田仲康博『風景の避け目——沖繩、占領の今』」(2000字)、『図書新聞』第2978号、2010年8月14日
3. 「倉本智明編著『手招くフリーク——文化と表現の障害学』」(2000字)、『図書新聞』第2989号、2010年11月13日
4. 「コラム：社会学回顧——2010年度の成果から」(1600字)、『週刊読書人』第2870号、2010年12月24日
5. 「長谷正人『映画というテクノロジー経験』」(1400字)、『週刊読書人』第2874号、2011年1月28日

大学院生（社会学分野）業績一覧（2010年度）

後藤 美緒

【学会報告】

1. 日本社会学会大83回大会 名古屋大学 東山キャンパス「大衆と知識人の間——ある「漫才作者」の事例から——」2010年11月6日

【論文】

1. 「1920年代の学生と住居—東京帝大新人会における「合宿所」の考察から」筑波大学社会学研究室編『社会学ジャーナル』第35号：45-65

赤羽 由起夫

【論文】

1. 「『普通の子』による凶悪犯罪と『心の理解』」『青少年問題』639：32-7, 2010年7月.
2. 「『リスク』としての少年犯罪とモラル・パニック——『普通の子』の凶悪犯罪報道に着目して」『犯罪社会学研究』35：66-80, 2010年10月.

【学会報告】

1. 「犯罪とマス・メディアをめぐる聖・俗・遊」『関東社会学会第58回大会』自由報告, 中央大学, 2010年6月20日.
2. 「学校内での子どもの殺人と学校の『責任』——佐世保同級生殺害事件を事例として」『日本社会病理学会第26回大会』自由報告, 大阪樟蔭女子大学, 2010年9月26日.

楠田 恵美

【論文】

1. 「形のなかの街——表象の日本橋の時空表現」『社会学ジャーナル』第35号, 筑波大学社会学研究室, pp67-82.

【学会報告】

1. 「社会の地形と社会の地層——区史にみる日本橋の表象作用——」『関東社会学会第58回大会』自由報告, 中央大学, 2010年6月20日.